

審議会等の会議結果報告書

課所名

生活環境課

会議名 令和2年度 第1回諏訪市環境審議会

開催日時 令和3年 2月8日(月) 14:00～15:35

出席者

委員:平島 安人委員、河西 佑紀委員、北原悠 二郎委員、宮原 裕一委員、宮坂 忠彦委員、藤原 芳春委員、矢崎 正子委員、伊東 克幸委員、武居 薫委員、小林 佐敏委員、佐藤 よし江委員、有賀 昂委員、大館 道彦委員、藤森 一俊委員、是永 剛委員、小泉 幸善委員(団体名五十音順)
諏訪市:金子諏訪市長、花岡市民部長、樫尾生活環境課長、藤森環境衛生係長、小松環境保全自然エネルギー推進係長、大槻主査、笠原主査、
傍聴者:0名

資料

次第、資料1～5

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 第二次諏訪市環境基本計画及び環境審議会について

5 会長及び副会長選出

6 報告

(1) 令和2年度及び令和3年度の主要な環境施策について

【質疑、意見等】

→なし

(2) 令和2年度諏訪市環境推進会議の開催状況について

【質疑、意見等】

■会議資料のペーパーレス化として、メール等による資料の事前送付や会議資料を減らしていくというのがゴミを減らすという意味で必要ではないか。会議の時にパワーポイントなど分かりやすく見せられる方法なども良いのではないか。

→全ての委員にタブレットなどを渡すなど対応ができればよいが、今後少しずつでも対応ができるかを検討したい。A3判の資料についてはパワーポイントなどでスクリーンに投影して説明するなど検討していきたい。

(3) 諏訪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けて

【質疑、意見等】

- 計画内容が市民にとってより具体的なものでないと分かりにくい。計画の段階でもう少し家庭での温暖化防止につながる具体的な内容を明記できないか。
 - 計画目標を立てるだけでなく具体的な対応を示すことが非常に重要である。各家庭の削減目標について、絵やグラフなど分かりやすい形で誰でも分かるような啓発用チラシ等を作成していきたいと考えている。

(4) 令和2年度諏訪市廃棄物減量等推進審議会の開催状況について

【質疑、意見等】

- 報告事項で定量的に示すものは資料に明記いただきたい。〇〇についてという表記が多いが、表題で何を言っているか一目で分かるような表記をお願いしたい。

(5) 第二次諏訪市環境基本計画の改定について

【質疑、意見等】

- SDGsの17の目標が全て環境基本計画に盛り込まれるのか。長野県ゼロカーボン戦略の策定が進んでいるが、県との協議は入っていないがその点はどのように考えているか。
 - SDGsの全てを関連づけるものではないので、関連づけられるものを紐づけていきたい。また、本計画の改定について県と協議することはないが、国や県の状況を把握しながら進めていきたい。
 - 長野県ゼロカーボン戦略の概要については市にも情報を共有しながら進めていく。

(6) 諏訪市社会文教委員会からの政策提言書について

【質疑、意見等】

- 市内でも営農型のソーラーを設置する農家が出てきている。今後、営農型ソーラーが増えていくことも考えられるため、条例を制定する場合には織り込んでいただきたい。

7 その他

- 諏訪市自然環境保全条例と諏訪バイパスの関係性についてはどうか。また、諏訪バイパスに関する環境影響評価準備書が公表された場合の対応についてはどうか。
 - 諏訪市自然環境保全条例については、地下水の井戸を掘る場合に限られる内容となるため、開発行為には該当しない。また、国や県の事業については届出の対象外となる。環境影響評価準備書の意見の取りまとめについては、市の国道バイパス推進室が主管課となっている。生活環境課では、環境影響評価準備書に対する住民等意見が公表された場合、その内容を勘案して、環境保全の見地からの意見を上げていく。
 - 国や県がなぜ届出対象外になるのか理由を教えてください。また、同事業が環境面への部分で本当に問題がないのか気になっている。
 - 昭和48年に諏訪市自然環境保護条例を制定した際に、県や他自治体の条例についても適用除外となっていた経過もあるため、当市の条例も同様となっているものとする。諏訪バイパスの環境影響評価準備書が公表されたところで個人から意見を提出することができる

ため、その際にご意見をいただければと思う。

→環境影響評価準備書の公表に併せて公聴会も開催される。県環境影響評価技術委員会においては委員から水象面で意見も出されている状況である。

8 閉会

以上